
独白。

六花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

独白。

【Nコード】

N2893U

【作者名】

六花

【あらすじ】

だいすきだけれど、
だいきらいな、
愛すべき貴方へ。

どうしてわたしは鈍感に出来てるんだろう。

ひとの痛みに鈍感で、

大切に出来ない。

ひとの気持ちとかそういうの、

全く大事に出来ないで。

こんな風に傷つけるなら、

すきだって言わなきゃ良かった。

暴かれた自分がこんなに弱いなら、

貴方の前に差し出すんじゃないかった。

深く関わることで別離がただただかなしいと知るなら、

最初から他人でいれば良かった。

恥ずかしい、恥ずかしい、恥ずかしい。

ずっと巧く避け続けてきたのに、

どうして関わってしまったのだろう。

あなたはひとりでいいと言ったけれど、

わたしだってひとりでいいと思っていたよ。

わたしはみんなを傷つけるから。

だれも大事に出来ないから。

結婚が2人で居続ける約束だなんて、

そんな甘い考えなんか持ってない。

だって一緒に居たって交わらない。

軀が交わったってそんな約束になんかならない。

傍に居たって、交わることなんか出来ない。

そんなの今も証明し続けてる。

だって、生まれた原因がだれかの都合で、

気がついたら其処にいて、

そのだれかは自分の都合でそれぞれやってて、

だれかの都合で自分が始まってた。

だれにも理解されないんじゃないやなくて、

わたしは理解されたくないんだ。

説明するのも嫌。

自分を見られるのも嫌。

だれかのなかの自分なんて知らない。

受け入れられなくなつて知らない。

そういう部分をだれにも見せたくなくて、

結婚相手もそういうのに疎いひとを選んだ。

なにも聞かないで放つて置いてくれる人。

わたしのすきなところだけ、関わってくれる人。

全部恥ずかしい。

こんなに稚拙で、形にならない、

何も成さない自分なんか、

狂いそうなくらいに恥ずかしい。

こんなに中途半端に暴かれるなら、

いつそ全部を拒絶してくれたらいいのに。

要らないって言われたら、安心して帰れる。

もう絶対開けないし、表になんか出さないで

一生飼育殺しにするのに。

ほんとはだれかに言い訳したくて仕方がないって。

何処まで存在が恥ずかしいのか。

だけどだれにもなにもいえないの。

言っただけで理解なんかされない、いらない。

そんな生ぬるいのいらない。

だから要らないって。

わたしは要らないって。

うわべのわたしすらも気持ち悪いって。

全部否定してよ。

ねえ、大丈夫だから。

元々ひとりで居たのが、

定位置に戻るだけ。

もうだれかと交わりたいたなんて

ゆめみたいなこと思ったりしない。

そんな資格なんかないし、

もう望まないから。

わたしという存在は、

他所のだれのものでもいいから。

少しも残らないように削除して。

（後書き）

貴方の為に言葉を紡ぐのは、
ちつとも嫌じゃない。

だけど受け入れられないから。

せめて此処に置かせて欲しかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2893u/>

独白。

2011年10月9日05時11分発行